

C 協働学習 (C 1)

主な学習活動 うさぎ小屋の混み具合を比べる。

1 本時のねらい

比べ方を多様に考え、説明し合い、その中からよりよい方法を検討することによって理解を深めることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

ファイル共有

電子黒板

3 参考にしてほしいポイント

問題文を視覚的に捉えたり、操作活動をしたり、考えを共有したりすることで課題追求できるようにする。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	面積をそろえるか、うさぎの数をそろえるにはどうすればよいのか考える。	(ロイロノート) うさぎ小屋のイラストを送信し、自由に操作できるようにする。 (電子黒板) 児童の考えをロイロノートの提出箱に提出させ、モニターに映す。各自のタブレットでも見られるようにする。

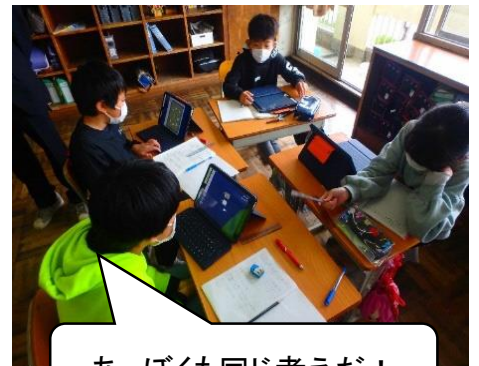
タブレット

+

電子黒板



こうやって区切って考えたよ。



あ、ぼくも同じ考えだ！

4 活用効果

イラストを区切ったり複製したりすることで、うさぎ小屋の面積かうさぎの数のどちらかをそろえるための解決方法を見いだすことにつながった。また、友達イラストへの書き込みを基にした交流から、相違点に気付くことができた。

5 アドバイザーからのコメント

算数の文章題では、問題を解くために必要な語句と必要でない語句が区別できること、問題の内容が構造的に理解できていることが必要になります。小学校低学年では、手を動かすなどの動作化が、その理解に役立つと報告されています。(東京工業大学 赤堀侃司)

他者とすぐに共有することができるメリットを生かし、他者の考えから自身の考えを広げることができています。他者の考えと自身の考えを分けて記録に残すことで、他者より多くの学びがあること気付くことができますので、日常的に取り組んでいくことが大事になりそうです。(福島大学 平中宏典)